

\*本リリースは9月17日にアトランタで発表されたリリースの翻訳です。

2012年9月20日

## デルタ航空、米国外の空港で初の充電ステーションを成田空港に設置

2012年末までに合計33の空港の出発ゲートで充電ステーションが利用可能に

**【アトランタ、2012年9月17日】** – デルタ航空(NYSE: DAL)では、空港の出発ゲートでお客様が無料で電子機器を充電できる電源、「充電ステーション」の設置を進めており、このほど新たに成田空港を含む13空港への追加設置を開始しました。米国外の空港で充電ステーションを設置するのは成田空港が初めてとなります。

成田空港では、デルタ航空が使用する第一ターミナルの第一サテライトと第二サテライトの出発ゲート付近に、110ボルトのコンセント6口とUSBポート2口がついた充電ステーション6台を設置しました。

米国内では、アンカレッジ、オースティン、デンバー、ダラス・フォートワース、ヒューストン、カンザスシティ、ミルウォーキー、ニューオリンズ、オンタリオ、フィラデルフィア、フェニックス、シラキュースの12空港で、年末までにデルタ航空ブランドの充電ステーションが新たに設置される予定です。

なお、全米でデルタ航空便利用客の多いトップ20の空港(アトランタ、ボストン、シンシナティ、コロンバス、デトロイト、ハートフォード、インディアナポリス、ロサンゼルス、メンフィス、ミネアポリス/セントポール、ナッシュビル、ニューヨークのJFK空港とラガーディア空港、ノーフォーク、オマハ、ピッツバーグ、ポートランド、ソルトレイクシティ、シアトル、セントルイス)には、既にデルタ航空ブランドの充電ステーションが設置されています。

デルタ航空のマーケティングプログラムおよび流通戦略担当副社長、ウェイン・アーロン(Wayne Aaron)は次のように述べています。「デルタ航空が推進している出発ゲート付近への充電ステーションの設置は、お客様から大変好評をいただいています。米国のPCWorld誌でも旅行中の顧客満足度を上げるための重要な要素として紹介されました。最近ではスマートフォンやコンピュータ、タブレット型端末などを持って旅行するお客様が多いため、長距離のフライトの前に電源を使えば、機内で存分に仕事をしたり娯楽を楽しんだりすることができるようになります。」

充電ステーションの追加設置は、デルタ航空がかねてより推進している総額30億ドル以上を投じた機材および機内設備、空港設備への投資計画(2010年~2013年)の一環です。投資内容には2013年からの国際線へのインターネットサービス導入をはじめ、すべての国際線用ワイドボディ機へのフルフラットベッドシートの設置、個人用モニターの増設のほか、米国内線用機材へのファーストクラス座席の追加、短距離国際線へのエコノミーコンフォート座席の追加、空港ラウンジ スカイクラブの改修、デルタ航空の米国2大ハブ空港、アトランタ(新国際線ターミナルが5月に開業済)とニューヨーク JFKでの国際線旅客向けターミナル施設(来年5月オープン予定)の拡充などが含まれます。

デルタ航空は年間1億6,000万人以上の搭乗者数と広範なネットワークを持つ航空会社です。トラベルウィークリー誌の読者により「2011年米国内ベストエアライン(domestic “Airline of the Year”)」や、PCWorld誌の「最もテクノロジーの進んだ(Tech-Friendly)米国航空会社」に選出されたほか、ビジネストラベルニュース誌のエアラインサーベイ、エグゼクティブ・トラベル・マガジンのリーディング・エッジ・アワードなどを受賞しています。デルタ航空およびデルタ・コネクションの運航便とあわせて、世界60カ国、約320の都市に向けてフライトを運航しています。世界で8万人以上の従業員を擁し、700機以上の主要機材を運航しています。デルタ航空は、航空連合(アライアンス)「スカイチーム」の創立メンバーとして、大西洋路線においてエールフランス-KLM、アリタリア-イタリア航空とともに、共同事業を展開しています。アトランタ、シンシナティ、デトロイト、メンフィス、ミネアポリス/セントポール、ニューヨーク(JFK)、ソルトレイクシティ、パリ(シャルルドゴール)、アムステルダム、東京(成田)をハブ空港とし、提携航空会社と合わせて一日に1万3,000便以上のフライトを運航しています。デルタ航空のサービスには、世界最大のマイレージプログラム「スカイマイル」、各賞を受賞しているビジネスクラス「ビジネスエリート」、世界中の空港に50箇所以上設置しているラウンジ「デルタ スカイクラブ」等があります。デルタ航空は2013年にかけて総額30億ドルを投じて空港施設やプロダクト、空港および機内での顧客サービス向上とテクノロジー導入を進めています。詳しくはホームページ [delta.com](http://delta.com) をご覧ください。

<報道関係者お問い合わせ先>  
デルタ航空太平洋地区広報部  
e-mail: [corpcommjapan@delta.com](mailto:corpcommjapan@delta.com)